

【問7】防災に関する市への意見・要望（回答一覧）

防災意識の啓発、防火用水や避難所、備品の充実等にもっと市が力を入れるべき。我が自主防災会では限界を感じている。

地域と避難所の連絡体制が不明。避難所の担当職員は避難所にひなんさせるまでの具体的な行動を指示できるようにしてほしい。（訓練に参加しての意見です）

市内各地区それぞれ災害危険個所が異なっており、それに見合わせた市からの避難・支援方法の提示があると、地区内での訓練や活動計画が立てやすくなると思う。

毎回同じ意見を書いている（特に赤封筒の取扱いについて）

毎回水害だけの訓練となっているが地震についての訓練はどうしてないのか？

避難行動要支援者の取扱いが見られないので災害時に時間のロスが出ると思う

避難準備・高齢者等避難開始の発令時に対象地区の高齢者避難支援に際し、タクシー会社との提携により、タクシーを活用した避難支援を行っている事例があれば教えていただきたい。

消防団員の確保、又は半ば強制的に任期を決めて必ず一度は誰しもが消防団活動に参加できるような仕組みはできないものか

当地区として心配が大きい災害は、火災と地震だと思う。特に巨大地震と防災についての情報が欲しい。

消防署のサイレンにより花巻市一斉防災訓練してはどうでしょうか。花巻防災訓練の日を制定してはどうでしょうか

避難行動要支援者になる時に、市役所で本人と面談し、制度の概要を説明しながら本人の意向を確認するようにしてほしい。

要支援者の名簿は市よりいただいているが、家族と同居している方もおり決定方法がよくわからない。一義的に家族が助けるのが「スジ」ではないか？

研修会を受けたと思うが忘れたと思う。大雨や土砂災害の危険がある時は早めに連絡を頂いています。地区では連絡は実施する体制があるのでよろしくお願いします。

行政区内に災害時安全な集合場所はありません

全国的に災害が発生し、『避難指示』が早い時間帯に出されるようになりましたが、『市の緊急避難場所』の収容人数は限られているので、入れない『どこに行くのか？』不安がある。

「自主」とは言っても、行政にむりやり作られた組織である。責任の所在もはっきりしない状態で、形式的な訓練らしきものはやっているが、非常時の活動などとてもおぼつかない。幸いにして災害とはほとんど無縁の地域であるので助かっているが。

危機感がもてない活動になっており、まずいと思っている

【問7】防災に関する市への意見・要望（回答一覧）
1995年1月17日阪神淡路大震災が起きました。要救助者は35000人であった。この内近隣の住民が救出した要救助者は27000人（77.14%）、警察・消防・自衛隊が救出したのは8000人でした。国の対応がまったく遅いことがうきぼりになりました。新年早々能登地震での政府の対応も早いものではないようです。国民の生命と財産を守ることは国や地方公共団体の最大の任務である。自助、共助、公助の組み合わせが大切であると思います。
地域任せにせず積極的な関与を期待する。また、活動日程の支援をお願いします。
防災士の資格を有していても、市からの要請、地域との連携がなく有事の時の対応等が懸念される。市の補助で資格を取得しているのに、その運営が出来ていないと思われる。
市の避難所が集落から離れているので、利用し難い。
防災マニュアル及び防災マップの市民への配布をお願いしたい
防災グッズを各行政区に設けてほしい（要望する）
防災活動の「見える化」について、市が中心になってさらに行って頂きたい
当地区は水害や土砂崩れの心配が少なく、防災への関心は低い。一番心配しているのは台風などの風害、大きな地震であるが、倒木による停電、道路の不通、電話の不通など自主防災として対応が不可能な場合の支援をお願いしたい。
自助・公助・共助・近所・全助
言い訳ですが日々の事業が多く危険性が少ない地区なのでおろそかになっている
市の担当、消防署等の協力のもと研修会を行いたいのでご協力を願いたい
他の防災組織との交流あるいは情報交換共同訓練などできたらと思う
要支援者が支援できる家族や身内がいるのに、要介護3だからと名簿に載ってくる。申し出があったから登載するのだと思うが、事情が分かる自主防で柔軟に対応させて欲しい。又、同様に、車を運転し、仕事もし、歩行もできるのに、前に病気で要支援者に登録され、そのままになっているケースもある。
1現在の避難所で住民を収容できないのではないのか？青雲高校の提案をしたのだが現在の避難所で収容出来ないときに交渉すると回答されたことがあるが災害時にそんな余裕はあるのか？ 2好地地区は防災ラジオの受信は出来ないみたいだかその対策は？ 3犬を避難所に連れて来のに躑をされた犬でなければならないみたいだがきちんとしたトレーニングした犬は少ないのではないのか？また、人が集まる場所では、興奮状態になります。ドッグトレーナーの考えです。
避難行動要支援者に防災ラジオを貸与してほしい。防災会で配布するので、その際に個別避難支援計画書の確認をします。
個人情報保護と支援について自主防災組織の関わり方のマニュアルが欲しい。
防災意識が盛り上がりながらいない中での組織運営等
当会も該当するが、公民館役員と別組織とし、会役員の固定化をするべきである。地区の防災体制のプロ化的組織とし、非常時に備えるべきだと思慮する。
老人はホームページは弱い人が多いので公民館に貼り、見やすい大きな表等を作り、配布してほしい

【問7】防災に関する市への意見・要望（回答一覧）
1月に防災研修会がありました但津波の内容が多かったですが次は内陸に住むものとして地震が起きた場合、具体的にどう行動するかをお聞きしたいです。
八重畑地区の大洪水避難場所は愛農農場、野球場とあるが、衛生的面でトイレの改修等設備をととのえるように計画されているが、八重畑小学校の3F全部を使用することは考えられないのでしょうか。早い時間的に逃げ、避難すれば可能かと思ひます。
災害時に避難場所(愛農農場)との連絡がとれる電話等を教えてほしい
「高齢者等避難」の前に、不発になってもかまわないので、対策本部設置等の事前の状況について情報提供があると、自主防災会事務局としての対応が取りやすいと思ひます。市HP、ネット(メール)からの、警戒情報の読み取り方が難しいと感じています。(マップ表示と警戒レベルが) 住民へ避難指示を出すタイミングが難しいと感じています。報告書はWord様式も使えるようにしていただくと助かります。
水道が使用できない時のため、沢水(わき水)の使用 燃料の確保(ガソリン、軽油、灯油、ガス) ライフライン
防災に対して住民一人ひとりの意識を高める方法を教えてほしい
照明器具があればよいと思ひます。
当地区は、北上川の東岸にあたるため洪水地域なので堤防が必要と考える。
マイ・タイムラインという言葉をはじめて聞きました。花巻市の広報にたまにでも自主防災コーナーがあり、「マイ・タイムライン」とは…。とかあれば助かります。
前記いたしました要支援者名簿について。名簿の意味がないと書いてしまひましたが、本当に支援してほしいのは名簿に記入されていない多くの方々です。何が災害時には名簿がいいというのではまったく意味がない。地区では名簿以外10人以上移動できない方がいます。なぜ届け出しないかという、本人の希望のほか高齢で自分ではわからないという方です。市では本当の所が見えていないのではないかと感じています。
防災についての研修会を年2回ほど実施してほしい(R6年1月8日文化会館で実施したような研修でいい)
地図を描くのはとても大変なので簡易的な地図を付けてほしいです
少子高齢化が急速に進んでおり役員のみ手もなくなつていへんである。特にも土砂災害などがあつた場合、地域が分断されるため活動も避難もできないことが予想される。
個人情報保護の関係で、世帯数や家族構成もわからず、住民の把握に苦慮している。自分達の地区の実態を知ることが一番大切と思ふ
災害発生時、市役所が休みの場合の場合の対応について、支所でも本庁でも連絡が取れる体制をお願いしたい。
昨年12月に県道下宮守田瀬線が田瀬9・10区付近で大きな陥没があり、通行不能となりました。迂回路として釣り公園の前を通る市道が使われましたが、ダムの水位があつて1m上昇すれば、その道路も水没し避難所指定されている田瀬振興センターは往来不能となる状況でした。田瀬地区にとってこの県道は欠くことのできない道路ですが、舗装されてから50年程度経過し、他にも沈下箇所が多く確認されています。同様の陥没事故が発生する前に沈下箇所の改修を進めていただきたい。